

○東京都板橋区国民健康保険運営協議会規則

昭和34年11月30日東京都板橋区規則第4号

〔注〕昭和61年から改正経過を注記した。

改正

昭和35年2月29日規則第1号

昭和61年3月20日規則第4号

東京都板橋区国民健康保険運営協議会規則

(目的)

第1条 この規則は、東京都板橋区国民健康保険条例（昭和34年11月板橋区条例第22号）第3条の規定に基づき、東京都板橋区国民健康保険運営協議会（以下「協議会」という。）に関して必要な事項を定めることを目的とする。

(所掌事項)

第2条 協議会は、区長の諮問に応じて、次の事項を審議する。

- (1) 療養の給付の充実及び改善に関すること。
- (2) 保険料の賦課及び徴収方法に関すること。
- (3) 前各号のほか、区長が国民健康保険事業の運営上重要と認める事項

(委員の委嘱及び辞任)

第3条 委員は、区長が委嘱する。

- 2 委員を辞職しようとするときは、理由を具して、区長に申し出なければならない。

(会長)

第4条 協議会に、会長1人を置き、公益を代表する委員のうちから、委員が選挙する。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 3 会長に事故あるときは、第1項の規定に準じて選挙された委員が、その職務を代理する。

(協議会の招集)

第5条 協議会は、会長が招集する。ただし、委員の3分の1以上の者から協議会の招集の請求があつたときは、会長は、協議会を招集しなければならない。

(協議会の議事)

第6条 協議会の議長は、会長があたる。

- 2 会議は、委員定数の2分の1以上が出席し、かつ、条例第2条第1号、第2号及び第3号に規定する委員1人以上が出席しなければ開催することができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

一部改正〔昭和61年規則4号〕

（その他の関係者の出席）

第7条 会長が必要と認めるときは、協議会の承諾を得て、委員以外の者を会議に出席させ、意見をきくことができる。

（除斥）

第8条 委員は、自己若しくは父母、祖父母、配偶者、子、孫若しくは兄弟姉妹に関する事項については、その議事に加わることはできない。ただし、協議会の同意を得たときは、会議に出席し、発言することができる。

（会議録の作成及び保存）

第9条 議長は会議録を調製し、これを保存しなければならない。

2 前項の会議録は、議長及び2人以上の委員が署名するものとする。

付 則

この規則は、公布の日から施行する。

付 則（昭和35年2月29日規則第1号）

この規則は、公布の日から施行する。

付 則（昭和61年3月20日規則第4号）

この規則は、昭和61年4月1日から施行する。